

面接の礼法・所作学ぶ

外部講師招き「よのなか教室」

延岡市の延岡中学校（千井智喜校長、2006）で教育の二環として地域



延岡中学校で行われた「よのなか教室」



「面接に向けた礼法指導」をテーマに授業した細川さん

の大人を派遣する「よのなか教室」を開いた。市キャリア教育支援センター（水永正恵センター長）の協力で実施。3年生100人が志望校合格を目指すし、高校入試の面接に備えて正しい礼法や所作などを学んだ。

この日は、秘書技能1級を持ち、若者の就労を支援するみやさき若者サポートステーションサテライト延岡（同市土々呂町）でキャリアコンサルタントを務める細川真由美さんが「面接に向けた

礼法指導」をテーマに授業した。講話では、正しい身だしなみやお辞儀の使い分け、美しい座り方などを説明。面接室への入室から退室までの流れを5段階に分け「立つ時は椅子の左側に立つ」「相手の目を見て受け答えをする」など細かくアドバイスした。

続く実習では、生徒が2人一組で向き合いながら、人と擦れ違う時などに使う「会釈」、面接を含めて最も使う場面が多い「敬礼」、特別な気持ちを伝える「最敬礼」を練習。その後、代表者が面接時の入退室を実演した。

細川さんは「ドキドキする体験は人を強くする。緊張して嫌なことも成長のチャンスだと思っ

て挑戦してみてください。皆さんが志望する進路に進めることを祈っています」と激励。同校では、今回の学びを基にした面接指導を来年2月にかけて計画している。

三島修貴さん（14）は「お辞儀の種類や使い方が分かった。実習では改善点を教えてもらったので、今後の練習や本番に生かしたい。松田美桜さん（15）は「日頃から身だしなみなどを意識するべきだと感じた。本番は緊張すると思うので、しっかり練習して慣れておきたい」と話していた。